

標準学力調査に係る「国語科課題改善授業実践講座Ⅱ」実施報告

講座名	「国語科課題改善授業実践講座Ⅱ」
講師	相澤秀夫 氏(宮城教育大学教職大学院教授)
実施日時	平成22年12月10日(金) 14:00～16:45
参加者	38人
講座内容	1 相澤秀夫氏による師範授業 学級：那覇市立小禄中学校2年2組 教材：風切るつばさ(東京書籍6年上) 2 相澤秀夫氏による授業解説
参加者の感想	○今日はありがとうございました。初めて会った生徒達であるにも関わらず、子どもを夢中にさせる授業の展開に驚かされました。 ○相澤先生のお話にあった「余計なことは言わない」を実行するように心掛けます。年明けから「少年の日の思い出」に入る予定なので、今日教えて頂いた発問例を生かして、授業の展開を考えたいと思います。 ○飛び込みの授業でここまでできるということにびっくりしました。学習をする上での約束事が一瞬のうちに成立し、レポートもしっかりとれていました。自分の授業をもう一度振り返らなければと思いました。 ○発問の仕方や声のかけ方、指名の仕方等について具体例を示して頂き、たいへん分かりやすかったです。ぜひ自分の授業に生かしていきたいと思います。 ○生徒の学びを充実させるために、国語の時間が待ち遠しくなるような授業を目指していきたいです。まだまだ修行が足りないと感じました。今日教わったことを実践して、しっかり教師力をつけていきたいです。 ○無駄を省いたらどう授業が変わるのか、ぜひ実践して生徒の成長を確かめたいと思います。 ○文学の読みの授業、道徳の授業、教材研究の際の視点などについてもぜひ相澤先生に教えていただきたいです。 ○発問の焦点化が一番印象に残りました。読む、書く、話し合う、発表する。50分の授業で十分に国語力を鍛えていると実感しました。

